

議会 ICT 推進委員会会議録（要点筆記）

令和7年3月24日（月）
午前11時25分 開会
場所 委員会室

○山田清一委員長

ただ今から、議会 ICT 推進委員会を開催します。

協議題1「タブレットの有効活用について」を議題とします。

タブレットの有効活用についてですが、現在は主に議会資料の閲覧ツールとして使用されているものの、個々の議員活動では十分に活用されていないのが現状です。そこで、前回の委員会では、既存の機能を活かした活用方法や、新たなアプリの導入による可能性について協議し、実現可能なものがあれば提案していく方針としました。既存の機能を活かした活用の方法など、ご意見ありましたらお願いします。

しばらく休憩します。

午前11時26分 休憩
午前11時45分 再開

○山田清一委員長

会議を再開します。

タブレットの活用に関する主な意見は、次のとおりです。

- ・議場のモニターでは、一般質問の補足映像が小さく見えにくい。モニターとタブレットを連動させ、補足説明映像をタブレットでも表示できるようになれば、より視認性が向上し、一般質問の理解が深まる。
- ・金銭的な負担については一旦考えず、文書作成や PowerPoint 資料の作成が可能な Microsoft Office のようなアプリの導入や、LINE WORKS AI などの文字起こしアプリの活用は、事務の効率化を図るうえで必要ではないか。
- ・ChatGPT など生成 AI を活用し、議会活動や議員活動の効率化を図る。
- ・タブレットのカメラ機能は優れている。ICT を活用した議会広報において、写真や動画を活用することで、より効果的な発信ができる。
- ・現在インストール可能なアプリの一覧を整理し、新たなアプリの活用を全議員に促進する必要がある。
- ・これまで、アプリを希望する議員に対して事務局が個々に対応してきたが、今後は全議員が利用できるアプリを提案し、案内していく必要がある。

以上の意見を踏まえ、まずは、既存のアプリや無料でインストール可能な事務作業用アプリの導入について次回の委員会で検討したいと考えますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、そのように進めさせていただきます。

次に、協議題2「次年度への申し送りについて」を議題とします。

本日の議会運営委員会にて、議会 ICT 推進委員会のこれまでの活動実績と今後の委員会の方向性について報告を行いました。次年度への申し送り内容には、先ほど協議したアプリの選定および活用についても追記し、次年度への申し送りとしたいと考えますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、そのように進めさせていただきます。

次に、協議題3「その他」の（1）半田市議会オンラインによる方法を活用した委員会運営に関する要綱（案）について」を議題とします。

要綱案については、調査の結果、最も直近で策定されている千葉市議会の要綱を参考に整理を行いました。要綱案を作成する過程で、皆さまと決定した「説明員（当局職員）のオンラインによる出席」の要件について、改めてご意見を伺います。

全国市議会議長会からの説明員のオンラインによる出席に関する通知では、各市議会に対し「当局職員がオンラインによる説明を濫用する可能性があるため、議会側としてその取扱いについて検討するように」との意見がありました。当委員会では、「オンラインによる委員会出席届の申請を行うこと」のみを要件として定めることとしましたが、千葉市議会の要綱を確認すると、「説明員のオンラインによる方法での委員会の参加は原則として認めない。ただし、委員会の審議、調査事項等に鑑み、委員長が必要と認めた説明員が委員会の開催場所に参集できないときに限り、オンラインによる方法で参加することができる。」と定めています。「オンラインによる説明の濫用を防ぐ」という観点では、こちらの方が適切であると考えます。また、円滑な議事運営を確保するうえでも、千葉市議会の要綱を参考にしたいと思いますが、いかがでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

それでは、そのように進めさせていただきます。

他に何かご発言がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

皆さんからのご意見は特にないようですので、本日の委員会はこれで閉会します。

午前11時51分 閉会